

2021年7月29日

## 2014年1月1日～2018年3月31日までに当院において乳房の手術 およびMRIを受けられた患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成26年12月22日制定 平成29年2月28日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

### 1. 研究課題名

MRIによる乳腺腫瘍周囲の脂肪評価

2. 研究期間            2018年9月1日～2024年7月31日

3. 研究機関            産業医科大学放射線科学教室

### 4. 実施責任者

所属 医学部放射線科学      職名 教授            氏名 青木 隆敏

### 5. 研究の目的と意義

乳房の悪性腫瘍が増大・進展する過程において腫瘍周囲の脂肪細胞の性質が変化し、変化した脂肪細胞の認められる領域は正常の脂肪細胞の領域よりも脂肪量が少ないことが報告されています。また、病理学的には腋窩リンパ節転移を有することや高い増殖能を示すことが予後不良の因子と考えられています。一方、MRIの脂肪の定量的指標である脂肪含有率(fat fraction)を計測することで乳房腫瘍周囲の脂肪の割合を評価できる可能性が示唆されています。

そこで我々は、実臨床において、MRI画像から得られる脂肪含有率(fat fraction)と病理学的予後因子や予後との関連性について検討することにしました。この研究の結果は、患者さんへより良い乳腺疾患治療を提供するための資料となり、今後の乳腺診療の発展に役立てられます。

### 6. 研究の方法

2014年1月1日～2018年3月31日までに、手術前にMRI検査が施行され、かつ手術で乳房腫瘍を摘出された患者さんの診療情報を元に、MRIデータから測定した乳房腫瘍周囲の fat fraction 値と摘出標本の病理診断結果や臨床経過との関係について検討します。

#### 7. 個人情報の取り扱い

カルテからの診療情報（年齢、病理組織所見）とMRI画像データを使用させていただきます。あなたの個人情報は削除して匿名化し、情報の徹底管理によって漏洩を防止します。この研究の実施や得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用いたしません。また、解析したデータは研究終了後5年間の保管した後、匿名化を確認した上、廃棄いたします。

本研究に該当する方で、ご自身の診療データ等の使用を希望されない方は、下記実施責任者へお申し出下さい。その場合、収集データは廃棄いたします。

#### 8. 問い合わせ先

産業医科大学医学部放射線科学講座

職 名：教授

氏 名：青木 隆敏

電 話：093-603-1611 内線 2406

F A X：093-692-0249

#### 9. その他

謝金はございません。

本研究参加による直接的な利益はありません。